



支援者向け発達障がい勉強会 初回 開催しました

講師に川崎医療福祉大学講師小田桐早苗氏をお招きし、上記勉強会を開催しました。全4回シリーズで、初回は知的障害あり発達障がい理解編を行いました。

35名の現場の第一線で活躍されている支援者の方が忙しい日中の時間にも関わらず、受講してくださいました。アンケートの結果(回収率97%)も「期待に添っていた」満足～大変満足が94%と高評価でした。脳の機能の違いからくる考え方の違いやその結果特異な行動が出現する事などを論理的に説明していただき、支援を行うためには、なぜその行動が現れるのかアセスメントを行うことの重要性を伝えていただきました。紙面ではお伝えしきれない沢山の情報を伝えてくださっています。興味のある方は表面に案内を掲載していますので、ぜひ参加ください。



4. 当センターと関わりのある方の活動紹介

K・Nの職場潜入ルポ ～クラシス洗車事業

倉敷市栗坂にあるクラシス B 型事業所洗車作業部門の職場を見学させていただきました。この洗車作業部門では、基本的に法人内の社用車や従業員方々の私用車を洗車しておられます。管理職員の方と利用者の方々とで分担して、きちんと作業を構造化し、無理のないペースで作業を行っておられました。

管理職員の方が元ガソリンスタンドの店長をされておられた方であるということもあり、洗車作業に対する意識や進め方にプロ意識をもっておられるのが印象的でした。利用者の方々は体調的に無理のない自分のペースを守りつつ、生き生きとした目で、黙々と自分の仕事に取り組んでおられ、自分の仕事に誇りを持っておられるのが印象的でした。職員さんの作業指示の仕方は優しく理性的で具体的なもので、頭ごなしに理不尽に精神的に圧迫をかけるようなことは無い様子で、発達障碍の人が作業しやすいように工夫されたものでした。

管理職員さんのお話は、「最初は誰でも素人です。まずは一通りの作業をやってみて利用者御本人が得意なところをきっかけに作業を任せています。車のオーナー（お客様）から言うと傷を付けられないか等不安なので、信頼できる人に任せたいものです。たとえ障碍者であっても作業ルールや道具の使い方等の基本を一つ一つ日々根気良く積み重ねていくことでその道のプロになれます。」とおっしゃっておられたのが非常に印象的で、私自信も生きていく勇気を頂きました。



発達障がいのある方の活動を募集しています。皆様の特技、素敵な趣味等をぜひ教えていただければと思います。

また、「発達障がい」に関する研修会、勉強会、親の会、当事者の会など当センターのホームページおよびこの広報誌に掲載させていただきますので、広報されたい方はご連絡ください。

多くの方とともに紙面を作っていければと思います。

<お問い合わせ>

社会福祉法人クムレ

倉敷発達障がい者支援センター（担当：小橋）

〒710-0002 倉敷市生坂 836-1

TEL 086 (464) 0015

FAX 086 (464) 3980

E-mail h-siencenter@cumre.or.jp

ホームページ <http://www.cumre.or.jp>

